

# MEN'S EX

4 APR 2012

新作スーツ100体を50ページで大特集!

大人のおしゃれは“品と格” [メンズ・イー・エックス]

<http://www.mens-ex.com>

大事な場面で好印象。  
運気が上がる  
**Vゾーン**

ISETAN MITSUKOSHI  
×  
MEN'S EX

ニッポンの職人が一堂に集

10テイラー&  
10マイスター  
イベント決定!

素材が! 機能が! デザインが!  
こんなに変わった  
**スーツの王道**

決定版  
**50**  
ページで  
大特集!

表紙の人

**中井貴一**

「王道」を演じる



LOUIS MOINET (ルイ・モネ)

筆者とも古い付き合いとなったジャン・マリ・シャラーさんは、いつも空想にあふれた時計を作る。その新作はトゥールビヨン・クロノグラフに惑星の動きを表示する時計だ。

仕方の仕事ぶりも相当に素晴らしい。アメリカはかつての時計大国なのだから、こうした時計工房がもつと準備する余裕があるだろう。今後のこの会社の発展を期待したいと思った。

さて来年のSIHHのスケジュールはまだ発表されていないが、今年までのように、バーゼルとの会期があまりにも離れている限り、このGTEなどの試みは続けられていくに違いない。

**ジュネーブ市内を西へ、東へ!**

自社のレセプション・ホールを展示会場にしてはいるF.P.ジュルヌは今年、アルミニウムを多用したスポーツ・ウォッチを発表しているというので、市街電車に乗って出かけてみた。

なるほどこれまでのジュルヌ時計とは全く異なる雰囲気の時計が、ショーケースに展示されていた。だがおそらくそれは昨年の震災の後に、義援金のために作られ香港でのオークションで相当な価格で競り落とされた、あの超軽量時計の発展形なのだと思う。

ジュネーブ市内の、湖に面した高級ホテルでもさまざまなブランドが展示会を開いている。例えばポヴェは、ホテル・ボリバー・ジュのシックなサロンをの舞台に、いつものことながら雰囲気のあふれる展示会を演出していた。

今年の新作はスリータイム・ゾーンのトゥールビヨンや、7日巻きのトゥールビヨンなど、ムーブメントを自給時計製造ができるマイクロプロセッサールとして造られたモノクロックチップを用いた能力を遺憾なく発揮した力作揃いで圧倒的な存在感を感じさせるものだった。また女性用として作られていた、腕時計にも、ペンダント・ウォッチにもなるタイプの時計には、豪華な黒真珠のネックレスが付属しており、これもまた美しいものだった。

ホテル・ニュー・ミューで小さな展示会をしていたのがルドウィック・パロードという、ジュルヌ工房から独立した時計師。これまでに発表していたのは「アツプ・サイド・ダウン」という時計で、文字盤上の数字が常に手逆になっている、正しい向きになっている数字のところが読み取るべき時間という変り種。今年の新作は「重構成」になったインテックスが動いて12時位置で読み取れるというかなりトリッキーな表示方法の時計であった。分針のみでそれがログラードするという、かなり過剰なタイムピースではある。

自らのムーブメントの仕上げも美しい。独立系時計師として、確実なファンをつかんでいってほしい。素晴らしい才能の持ち主と思ふ。

もっともこのころから小さな展示会を見学してきたが、限られた時間の中

LUDOVIC BALLOUARD (ルドウィック・パロード)

新作は、不思議な動きの時間表示をするユニーク時計。時計師のルドウィック氏(左下写真右)と、ビジネス・パートナーである日系のマサキ・サイトウ氏(同左)に話を聞いた。



中ではこれ以上は無理だ。なにしろジュネーブの冬は明るい時間がとても短い。SIHHは会場での予定がぎっしり詰まっているのだ。

そろそろもう一つ忘れては行かなかったのが、フィリップ・デュフォーとクルーベル・フォーシーがタッグを組み、新しく始めた「レ・ガード・タコ」という取り組みだ。時計作りが今日のまじにコンピュータ制御の工作機械での製造とな以前に使われていた、古い手回し旋盤や歯車を切る機械などの、古典的な電気を必要としない工作の諸機械を使いこなす、伝統的な技術を次の世代に伝承しようという取り組みがそれ。これはとても大切なプロジェクトだ。この話はずいぶんゆとりと取材してみた。

<http://yj.pn/QE1LWI>

松山 猛 PRESENTS チャリティーオークション



撮影●谷口岳史

復興支援に“終わり”はない



オークション期間  
3/20(火)~26(月)

ジオ・モナコ

[ディーバアクア]

パートナーと共有も可能なさわやかな色合いが魅力

アクアというモデルネームのとおり、ライトブルーの文字盤とレザーベルト、ベゼルにはダイヤモンドとアクアマリンをセッティング。華やかでありながら洗練された印象こそ、イタリア発祥ブランドであるジオ・モナコの特徴だ。クォーツ。SSケース。縦38×横45mm。アリゲーターストラップ。参考価格26万2500円(モントレックス)

[Watch AIDとは?]

東日本大震災の発生を受けて松山 猛さんの呼びかけにより実現した、高級時計ブランド協賛のチャリティーオークション。YAHOO! オークションにて1円スタートで実施され、落札金は、出品代行手数料3000円を除いた全額を「あしなが育英会」に寄付し、東日本大震災・津波で親を失った子供たちのケアに充てられます。

震災から1年。復興はまだ始まったばかりだ

ウォッチ・エイトは先月号の告知で、いったん終了する予定だったが、この復興支援の企画にまた賛同してくださるブランドがあり、今後も機会があるたびにオークションを続けることとなった。復興はまだまだその端緒に就いたばかりなのだから、さて今月登場するのは、ジオ・モナコのディーバアクアというモデル。

さわやかなライトブルーの文字盤や、ベゼルにセッティングされたダイヤモンドとアクアマリンの輝きが素敵な時計だ。このあたりの時計を着こなせるファッションセンスの持ち主ならば、この夏を楽しむ時計にぴったりではないか。皆さんのオークションへの参加を期待します。